

1 本時の目標

- 我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 日本の自動車の信頼性の高さについて、その理由を調べるための学習問題を考え、表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (1/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○前時までの学習を振り返り、これから自動車工業について学習していくことを確認する。
本時のめあて 日本自動車工業について考えよう。	
2 自動車工業に関するスライドを提示し、日本の自動車について知っていることや疑問に思ったことを記述する。〈個人〉	○自動車と自分たちの生活との関わりに気付くことができるように、保護者アンケートの結果を提示したり、日常生活の経験を振り返らせたりする。 ○日本の自動車の信頼性の高さに気付くことができるように、日本車が世界中で売れているというデータを提示する。
3 記述した内容をグループのメンバーと交流する。 〈グループ〉	○スライドの内容を基に交流することができるように、スライドのどこを見てそう思ったのか根拠を示しながら交流させる。[D③] ○友だちの考えを聞いて納得をした考えは赤色で付け加えをさせる。[D⑤]
4 全体で考えを共有し、新たに気付いたことや考えたことをメモする。〈個人〉	○考えを広げることができるように、友だちの考えを聞く際は、自分の考えと比べながら違うところを赤色で付け加えをするように伝える。[D⑤] ○全体で出された考えを学習計画を立てる際の手掛かりにするために、児童の考えを観点ごとに分類して板書する。
5 自分がこれから調べたいことをワークシートに書く。 〈個人〉	○調べる意欲を高めることができるように、疑問に思ったことを基に、調べたいことを書かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べている。 【評価】</div>
6 調べたいことを交流し、学習問題を設定する。〈学級全体〉	○調べたいことを整理し、学習問題を設定することができるように、板書の内容を基にワークシートに記述する時間を取る。 ○早く書き終わった児童には、調べたいことに対する答えを予想するように伝える。 ○学習問題設定につなげるために、日本の自動車の信頼性の高さに関する予想を取り上げる。
なぜ日本の自動車は世界中で人気があるのか調べよう。 (学習問題 I)	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の自動車の信頼性の高さについて、その理由を調べるための学習問題を考え、表現している。【評価】</div>

1 本時の目標

愛知県豊田市とその周辺でたくさんの自動車が生産されていることに気付くことができるようにする。
(観察・資料活用の技能)

2 展開 (2/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
<p>1 本時のめあてをつかむ。 〈学級全体〉</p>	<p>○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、前時の学習を振り返らせながら、自動車の主な生産地について疑問を持たせる。</p> <p>○前時の学習とのつながりを意識することができるように、児童のワークシートの中の「日本のどこで生産されているのか知りたい」という記述を取り上げる。</p>
<p>本時のめあて 日本自動車はどのような地域でつくられているのか調べ、まとめよう。</p>	
<p>2 日本の乗用車の普及率と生産台数の変化から読み取ったことを書く。 〈全体→個人〉</p> <p>3 読み取ったことからどのようなことが考えられるか話し合う。 〈グループ〉</p> <p>4 愛知県豊田市周辺の工場マップや総生産額の内訳のグラフから、気付きを出し合う。 〈学級全体〉</p> <p>5 自動車はどのような地域でつくられているのかまとめる。 〈個人〉</p>	<p>○自動車普及率のグラフや工業総生産の内訳のグラフから、読み取ったことと考えられることとを分けて整理させる。</p> <p>○資料の読み取り方を確認するために、1つ目の資料のみ学級全体で取り上げ、読み取り方と読み取ったことを基にした考え方を確認する。〔D②〕〔D③〕</p> <p>○考えを広げることができるように、友だちの考えを聞く際は、自分の考えと比べながら違うところを赤色で付け加えをするように伝える。〔D⑤〕</p> <p>○読み取ったことを基に考えることができるように、2つを区別して書く欄を設けたワークシートを配布する。</p> <p>○高速道路の周辺に工場があることや関連工場が集中していることなどに目を向けさせるために、関連する児童の発言を取り上げる。</p> <p>○読み取りのヒントとなる言葉をワークシートに記入しておく。</p> <p>○本時に学習したことを基にまとめることができるように、児童から気付きを引き出し、板書したものを見せ、キーワードとなる言葉は何かを問い掛ける。</p> <p>○本時に学習したことを基にまとめることができるように、キーワードをつなげて、まとめを書かせる。</p> <div data-bbox="612 1682 1453 1805" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>愛知県豊田市とその周辺でたくさんの自動車が生産されていることに気付いている。【評価】</p> </div>

1 本時の目標

日本の自動車が世界で売れている理由を考えたり予想したりする活動から、学習計画を考え表現することができるようにする。(社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (3/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (■)
1 前時までの学習を振り返り、 本時のめあてを確認する。 〈学級全体〉	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (■) ○教室掲示の中から日本の自動車が世界中で人気がある理由を探るといふ学習問題を立てたことを確認する。〔C①〕 ○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、学習問題を解決するためには、日本の自動車づくりについて何を調べていくと良いのか考えることを確認する。〔C①〕
本時のめあて 調べたいことや調べる方法を出し合い、学習計画を立てよう。	
2 学習問題についての予想を書く。 〈個人〉	○予想を出しやすいように、1時目のワークシートに記入した気付きを手掛かりに考えるように助言する。
3 調べたいことや調べる方法を考える。 〈個人〉	○調べたいことや調べる方法を考えることができるように、予想を基に、それを解決するためにどのようなことを調べると良いかを考えさせる。 ○見通しを持って調べ学習を行うことができるように、解決のために必要な資料や調べる方法を考えさせる。
日本 <small>の</small> 自動車 <small>が</small> 世界 <small>で</small> 売 <small>れ</small> て <small>い</small> る理由 <small>を</small> 考 <small>え</small> た <small>り</small> 予 <small>想</small> し <small>た</small> りす <small>る</small> 活 <small>動</small> か <small>ら</small> 、学 <small>習</small> 計 <small>画</small> を考 <small>え</small> 表 <small>現</small> し <small>て</small> い <small>る</small> 。【評価】	
4 学習の計画を立てる。 〈学級全体〉 ・単元の学習問題について予想し、調べることを話し合う。 ・調べる方法を話し合う。 ・調べていく順序を考え、決定する。	○調べ学習に意欲的に取り組むことができるように、調べたいことを発表する時間を取る。 ○学習の計画が立てやすいように、調べたいことが学習問題の解決につながるのか、その都度問い返しをし、確認をする。〔C①〕 ○学習計画が立てやすいように、予想を調べる観点ごとに分類して板書する。 ○次々以降の調べ学習において、いつでも振り返りをするできるように、ワークシートに学習計画を記入させる。

1 本時の目標

- ・自動車の生産工程や生産に携わる人々の工夫や努力について資料を活用して情報収集し、読み取ることができるようになる。(観察・資料活用の技能)
- ・自動車の生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応していることを理解することができるようにする。(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (4/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 学習計画表から本時のめあてを確認する。 (学級全体)	<p>○本時の学習に見通しを持つことができるように、日本の自動車は世界中で信頼度が高く人気があることを確認し、その理由を探る計画をしていることを確認する。〔C①〕</p> <p>○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、教室に掲示している学習計画表を基に、本時で調べることを確認する。〔C①〕</p>
<p>本時のめあて 組み立て工場で働く人々は、世界中で信頼度の高い自動車をつくるためにどのようなふうをしているのか調べよう。</p>	
2 組み立て工場ではどのように自動車をつくっているのか調べる。 (個人)	<p>○資料を基に自動車が組み立てられるまでの工程をまとめさせる。</p> <p>○5段階で組み立てられていることを理解することができるように、5つの工程に分けてインターネットの映像を流す。</p> <p>○調べた内容を整理することができるように、5つの工程と工程ごとに行われている作業とを分けてまとめることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>自動車の生産工程や生産に携わる人々の工夫や努力について資料を活用して情報収集し、読み取っている。【評価】</p> </div>
3 組み立て工場で働く人々の工夫や努力を考える。 (個人→グループ)	<p>○自動車工場で行われている工夫に着目して考えることができるように、工夫に焦点化した資料を見せる。</p> <p>○どのような工夫があったかを聞き出す際に、「ジャスト・イン・タイム」など、キーワードとなる言葉を取り上げる。</p> <p>○事実を調べるだけで終わらないように、事実を基に、工夫や努力は何のために行われているのかを考えさせるようにする。</p> <p>○工夫は誰に向けてされているものか、消費者と生産者という立場を明確にして考えるように伝える。</p> <p>○考えを深めることができるように、グループ内で見つけた工夫や努力を紹介する際は、自分の考えと比べながら友だちの考えを聞くように伝える。〔D④D⑤〕</p>
4 組み立て工場で働く人々の工夫や努力をまとめる。 (個人)	<p>○消費者に向けられた工夫と生産者に向けられた工夫とを分けて板書し、立場に目を向けて考えることができるようにする。</p> <p>○板書にある言葉を使ってまとめを書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>自動車の生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応していることを理解している。【評価】</p> </div>

1 本時の目標

- ・ 部品の生産工程や生産に携わる人々の工夫や努力について資料を活用して情報収集し、読み取ることができるようにする。 (観察・資料活用の技能)
- ・ 自動車の生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応していることを理解することができるようにする。 (社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (5/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (■)
<p>1 学習計画表から本時のめあてを確認する。 (学級全体)</p>	<p>○本時の学習に見通しを持つことができるように、日本の自動車は世界中で信頼度が高く人気があることを確認し、その理由を探る計画をしていることを確認する。〔C①〕</p> <p>○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、教室内に掲示している学習計画表を基に、本時で調べることを確認する。〔C①〕</p> <p>○組み立て工場には様々な部品が集められていたことを確認する。</p> <p>○組み立て工場では、生産者と消費者それぞれに向けられた努力や工夫があったことを確認する。</p>
<p>本時のめあて 部品工場で働く人々は、世界中で信頼度の高い自動車をつくるためにどのような工夫をしているのか調べよう。</p>	
<p>2 部品工場ではどのように部品をつくっているのか調べる。 (個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部品工場の生産の様子を映像で見る。 ・ 働いている人の話を聞き、工夫や努力について考える。 	<p>○部品の生産工程を理解することができるように、工程ごとに短く編集した映像を見せる。</p> <p>○調べ学習を円滑に進めることができるように、参考となる資料のページをワークシートに記入しておき、その中から探すように伝える。</p> <p>○工程ごとの内容をまとめた児童から、部品工場で行われている工夫を探すように声掛けをする。</p> <p>○立場に目を向けて考えることができるように、工夫が誰に向けられたものか考えるよう声掛けをする。</p>
<p>3 部品工場で働く人の工夫や努力についてまとめる。 (個人→グループ)</p>	<p>○部品の生産工程や生産に携わる人々の工夫や努力について資料を活用して情報収集し、読み取っている。【評価】</p> <p>○部品工場で働く人の工夫や努力について考えを広げることができるように、見つけた工夫をグループで伝え合わせる。〔D⑤〕</p> <p>○新しい考えや納得できたものは赤で書き加えさせる。〔D⑤〕</p> <p>○まとめる際のキーワードとなる言葉に線を引かせる。</p> <p>○立場に目を向けて考えることができるように、働く人の努力や工夫は誰に向けてされているものか、消費者と生産者という立場を分けて板書をする。</p> <p>○キーワードを入れてまとめを書かせる。</p> <p>自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応していることを理解している。【評価】</p>

1 本時の目標

完成した自動車がどのように消費者の元へ届けられるのか、また海外で現地生産がどのように行われているのかを理解することができるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (6/11 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
<p>1 学習計画表から本時のめあてを確認する。 〈学級全体〉</p>	<p>○本時の学習に見通しを持つことができるように、日本の自動車は世界中で信頼度が高く人気があることを確認し、その理由を探る計画をしていることを確認する。〔C①〕</p> <p>○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、教室に掲示している学習計画表を基に、本時で調べることを確認する。〔C①〕</p>
<p>本時のめあて 完成した自動車は世界中の人々へどのように届けられるかを調べ、まとめよう。</p>	
<p>2 完成した自動車はどのようにして世界中の消費者へ届けられるか調べる。〈個人→グループ〉</p> <p>3 工場間の連携や輸送手段についてまとめる。〈グループ〉</p> <p>4 現地生産が行われていることを知り、そのよさや課題を考える。〈個人〉</p> <p>5 本時の学習をまとめる。〈個人〉</p>	<p>○完成した自動車の輸送の仕組みを考えることができるように、輸送機関相互の関連や販売店の存在に目を向けさせる。</p> <p>○自動車が消費者に届くまでの過程の資料を提示し、国内への輸送方法と海外への輸送方法とに分けて調べる必要性に気付かせる。</p> <p>○事実を調べるだけでなく、輸送の際の工夫や努力にも注目することができるように、調べ学習の前に声掛けをする。</p> <p>○グループでの話し合いで新たに気付いたことを付け加えながらまとめさせる。</p> <p>○現地生産の仕組みに気付くことができるように、自動車生産にかかる費用で抑えられるコストがないか問い掛ける。</p> <p>○現地生産の現状について理解を深めることができるように、関係資料を提示する。</p> <p>○現地生産について理解を深めることができるように、現地生産について理解を深めることができるように、現地生産のメリットやデメリットも考えさせる。</p> <p>○本時に調べた内容をまとめやすくするために、現地生産が行われていることも踏まえた上で、完成した自動車が消費者の元へ届く過程をまとめるよう声掛けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>完成した自動車がどのように消費者の元へ届けられるのか、また海外で現地生産がどのように行われているのかを理解している。【評価】</p> </div>

1 本時の目標

- ・各種資料の中から必要な情報を集め、日本の自動車が世界中で人気がある理由をまとめることができるようにする。
(観察・資料活用の技能)
- ・これからの日本の自動車づくりについて、学習問題を考え、表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (7・8/11時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 (学級全体)</p>	<p>○前時までの学習を振り返ることで、自動車の生産方法や生産の過程で、消費者や生産者のために様々な工夫がされていることを想起させる。【C①】</p> <p>○学習内容に対する興味を高めるために、外国の自動車生産でも日本と同様の工夫がされているもの、日本の自動車の人気を世界中で高いことを紹介する。</p> <p>○調べる意欲を持つことができるように、これまでの調べてきた内容以外にも自動車生産の工夫があるのか問い掛ける。</p>
<p>本時のめあて 日本の自動車が世界中で人気がある理由をもっと調べよう。</p>	
<p>2 調べるための視点を持つ。 (個人)</p> <p>3 「環境への配慮」「安全性」「人への配慮」「デザイン」について個人で調べ、日本の自動車が世界中で人気がある理由をまとめる。 (個人)</p>	<p>○調べ学習に対する見通しを持つことができるように、日本の自動車が世界中で人気がある理由に関係するキーワードを、教科書の中から探すように伝える。</p> <p>○調べ学習をする際のヒントとなるように、キーワード「環境への配慮」「安全性」「人への配慮」「デザイン」を4つの視点として分けて板書する。</p> <p>○あらかじめ探しておいた並行読書の本や教科書、資料集やインターネット等を使い調べる時間を取る。</p> <p>○調べた結果を整理しやすいように、学習カードを使わせる。</p> <p>○調べたことと予想しこととを分けて整理することができるように、それぞれを区別して記入するカードを活用させる。</p> <p>○予想を基に、どのような方法で調べるのか見通しを持たせる。</p> <p>○分かったことをめあてにつなげるために、報告カードに記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>各種資料の中から必要な情報を集め、日本の自動車が世界中で人気がある理由をまとめている。【評価】</p> </div> <p>○新たに出てきた疑問は調査カードに書かせ、調べさせる。</p> <p>○調べていく中で出てきた環境問題や社会情勢から、これからの日本の自動車づくりについて目を向けるように声掛けをする。</p>
<p>これから日本の自動車づくりをどのようにしたらよいか考えよう。(学習問題Ⅱ)</p>	
<p>これからの日本の自動車づくりについて学習問題を考え、表現している。【評価】</p>	

1 本時の目標

交通事故や環境問題，社会の情勢など様々な側面から，これからの日本の自動車工業の発展について考え表現することができるようにする。 (社会的な思考・判断・表現)

2 展開(9/11時)

学習活動	教師の働き掛け (○)，質的改善を図った手立て (□)，評価 (【】)
<p>1 本時の課題を確認し，めあてをつかむ。</p> <p>・ 自動車の人や環境に与える影響について考える。 (学級全体)</p>	<p>○本時のめあてをつかむことができるように，交通事故や環境問題，世界の流れなど社会的な側面を踏まえた資料を見せ，これから自動車づくりをどのように進めていくべきか，自由な発言を促す。</p> <p>○本時の学習に見通しを持つことができるように，自動車づくりについての考えが持続可能で実現可能かどうか，簡単に考えさせる。</p> <p>○本時及び次時以降の学習に対して見通しを持つことができるように，本時の最後に次時でレポートを書く際の考えをまとめることを伝える。</p>
<p>本時のめあて これからの日本の自動車づくりはどのように進めていくべきか考えを持とう。</p>	
<p>2 自分の考えを観点別のグラフに順位を付けて表し，理由を書く。 (個人)</p>	<p>○考えの変化を可視化することができるように，「環境への配慮」「安全性」「人への配慮」の3つの観点に順位を付ける時間を取る。</p> <p>○説得力のある考えになるように，なぜそう考えるのか，その根拠を資料の中から示すよう声掛けをする。[D③]</p>
<p>3 グループでこれからの自動車づくりの進め方を話し合う。 (グループ)</p>	<p>○グループでの話し合いを通して，考えを深めることができるように，学習カードで考えを整理して話すように伝える。[D③]</p> <p>○お互いの意見がかみ合うように，観点ごとのグラフを見せながら話し合うように伝える。[D⑤]</p> <p>○考えの伝え合いに留まらないように，グループでの話し合いの前に，目的を具体的に話しておく。[D④]</p> <p>○考えを深めることができるように，同じ考えでも根拠として使った資料が異なる場所等，違いを見付けて聞くように声掛けをする。[D⑤]</p>
<p>4 学級全体でこれからの自動車づくりの進め方を話し合う。 (学級全体)</p>	<p>○自分の考えと異なる考えとを比較させながら聞かせる。</p> <p>○全体的話し合いを通して，説得力のある考えに高めていくことができるように，友達が示している根拠が正しいか考えながら聞くように助言する。</p> <p>○最終的な自分の考えの参考にすることができるように，納得した考えを赤色でワークシートに書き加えるように伝える。</p> <p>○最終的な自分の考えの参考にすることができるように，まとめる際のキーワードになる言葉に印を入れさせる。</p>
<p>5 次時のレポートを書く際の材料となるよう，ワークシートに考えをまとめる。 (個人)</p>	<p>○話し合いを経て自分の考えが変容したことを実感することができるように，観点ごとのグラフにおいて自分の考えを再度チェックするように伝える。</p> <p>○学級全体の話し合いでチェックしたキーワードを用いて，考えをまとめさせる。</p>
<p>交通事故や環境問題，社会の情勢など様々な側面から，これからの日本の自動車工業の発展について考え表現している。【評価】</p>	

1 本時の目標

日本の自動車工業が様々な工夫や努力によって発展し、国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気付かせ、自分の考えを分かりやすく表現できるようにする。 (社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (全 11 時間 10/11)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 前時までの学習を振り返り, 本時のめあてを確認する。 〈学級全体〉	○学習計画表を基に, 本時では自分が社長になって自動車づくりを進めるレポートを書くことを確認する。〔C①〕 ○持続可能で実現可能かを常に確かめながら書き進めることを確認する。〔D⑤〕
本時のめあて これからの日本の自動車づくりについてレポートを書こう。	
2 レポートを作成する手順を確認し, 書く。 〈個人〉	○自分の考えを明確にすることができるように, 「環境への配慮」「人に優しい」「安全機能の充実」の3つの観点に順位を付けさせる。 ○前時のワークシートを使って振り返りをし, 「現状・問題点」「方針」「思い」と順序立ててレポートにまとめることを確認する。 ○調べ学習でまとめた資料を使い, その中から根拠を示すように伝える。〔D③〕
日本の自動車工業が様々な工夫や努力によって発展し, 国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気づき, 自分の考えを分かりやすく表現している。【評価】	
3 振り返りをする。 〈個人〉	○現状や問題点に照らし合わせて書けているか, 考えの根拠を明確に示しているか, 読み返させて自分で評価をさせる。【評価】

1 本時の目標

これからの日本の自動車工業の役割や発展について考えようとするようにする。
(社会的な事象への関心・意欲・態度)

2 展開 (全 11 時間 11/11)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 本時のめあてを確認する。 〈学級全体〉	○本時のめあてをつかむことができるように, 前時で作成したレポートを紹介することを確認する。
本時のめあて 作成したレポートを交流し, これからの日本の自動車づくりについて考えを増やそう。	
2 報告レポートを交流し合う。 〈学級全体〉	○再度自分の書いたレポートを読み返し, 内容の確認をさせる。 ○良いと思ったことや納得をした考えはノートにメモさせる。 ○自分とは違う意見の人と必ず紹介し合うことを確認する。〔D⑤〕 ○メモを基に, 交流を通して深まった考えや新たに思い付いたことなどをまとめさせる。
これからの日本の自動車工業の役割や発展について考えようとしている。【評価】	
3 振り返りをする。 〈個人〉	○現状や問題点に照らし合わせて書けているか, 考えの根拠を明確に示しているか, 自己評価をさせる。